平成27年度事務事業実績評価表

政策No.	1	施策No.	12	事業No.	27 － 25

事務事業名	飯田の木で家を建てるプロジェクト事業	会計	一般会計	実施区分	
		事業種別	政策	開始 19	終了

H28担当課等名	林務課	H28係等名	里山保全係	H27係等名	里山保全係

基本計画上の位置づけ			
政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり	
施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化	

目的	
対象(誰・何を)	住宅建築主、工務店等住宅建設業者(飯伊建築業協会登録業者等)、設計事務所等
意図(どういう状態にするか)	間伐材を含めた飯田市産材の利用により、森林整備や林業振興を図る
向上させたい上位施策の成果指標	林業生産額(億円)

対象指標	指標名及び単位	27年度数値
	市内工務店(数)	25

目標	種別	指標名及び単位	27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	地域(飯田市)産材を使って建てられた住宅戸数(戸)	10	6	11	－	
	成果指標	地域(飯田市)産材を使って住宅建築を行う施工業者数(社)	7	3	7	－	
	定性目標						

事業概要

飯田市産材を使用して住宅を建てることにより、間伐材の搬出効果も高まるため、飯田市産材を一定の割合以上活用して、住宅を新築及びリフォームした場合に、建築主、施工した市内の工務店及び設計した設計事務所に対して助成を行う。
対象住宅は飯田市産材利用啓発活動補助金交付要綱の対象であって、建築に使用する全木材使用量に対して飯田市産材の使用割合が10％以上あること。
新築の場合　床面積 70㎡以上280㎡以下
リフォームの場合　リフォーム後の床面積 50㎡以上280㎡以下(補助金額は新築住宅の1/2)

27年度事業内容	事業内容	名称	活動指標
	飯田、下伊那及び上伊那地域に飯田市産材を10パーセント以上使用して住宅を施工(新築・リフォーム)した場合に建築主、工務店、設計事務所へ助成。 飯田市産材使用割合、使用量等により補助金を交付 1建築主…50千円～250千円 2工務店…50千円～160千円 3設計事務所…30千円～50千円	飯田市産材を利用した木造住宅建設戸数	6棟

事業コスト	26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①	2,509	3,496	1,863	3,546	
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	2,509	3,496	1,863	3,546	
人件費計(千円)②	894		894		
正規職員所要時間	250		250		
臨時職員所要時間					
総事業費①+②	3,403	3,496	2,757	3,546	

事業内容・目標達成状況の振り返り	目標棟数の達成ができた。平成25年度の要綱改正や広報いいだ、ウェブサイトなどの効果が出てきているが、引続き広報の推進に努める。

改革改善の考え方		
	①問題点	新築住宅着工戸数は、H25年度の消費税率引き上げによる需要で大きく伸びたが、その後、減少傾向となっている。また、地域材を利用して住宅を建てる建築主が少ない。
	②改革提案	事業実績に係る木材流通ルートの拾い出しやアンケート調査等によるニーズと流通の検証を行い、南信州木づかいネットワークや工務店等と連携して普及拡大を図る。移住定住策の観点から補助内容の見直しを行う。